

特集 生まれ変わる熊本。2011年3月12日(土)全線開業!

# くまもとのおもてなし力 結集

来年、いよいよ九州新幹線が全線開業します。全国から訪れるお客さまに喜んでいただくため、県内各地で準備を進める皆さんをご紹介します。

## おもてなし度日本一を目指します!



ようこそくまもと観光立県県民会議委員 おやま れいこ 小山 玲子さん(熊本市)

「ようこそくまもと大作戦」は、おもてなし活動の輪を県全域に広げる取り組みで、100を超える団体が県内各地で活動しています。

小学生や高校生によるおもてなし活動、町内会によるお茶の接待、サプライズ衣装をまとったボランティアガイドによる案内など、内容は実にさまざま。

県内各地にある13の「女将の会」では、熊本の海の幸・山の幸を紹介する「ランチョンマット」の作成や地域の皆さんと連携した観光地の清掃活動などに取り組んでいます。わたしたちみんなが熊本の素晴らしさを誇りに思い、訪れた皆さんに感動を持ち帰っていただけるよう温かい「こころ」でお迎えしたいですね。

### ようこそくまもと大作戦

地域づくり団体やNPO法人、学校などの団体が取り組む「おもてなし」活動に対して助成などの支援を行う事業です。

■お問い合わせ先/観光交流国際課 ☎096-333-2332



たくさんの方がおもてなし活動をしています!

## 食の「くまもとブランド」で感動を!

(株)マルゼンフーズ 代表取締役社長 なかがわ かつや 中川 勝也さん(玉名市)

「南関あげ巻寿司」は、玉名地域で古くから食べられてきました。熊本市の(株)泉屋さんとタッグを組んで商品化に取り組み、九州新幹線全線開業に向けた「おみやげ開発プロジェクト」に応募。来年3月12日の開業にふさわしいお土産になるようアドバイスを受けながら、商品の魅力をより磨いているところです。

大きな感動もいいですが、「小さなサプライズ」も旅の醍醐味(だいごみ)。人を引き付ける「食」を扱う企業として、熊本の食の豊かさをPRし、熊本の旅に驚きや感動を届けたいと思います。

### おみやげ開発プロジェクト

県産の農林水産物を使った加工食品の開発や改良、販売促進を支援し、幅広く支持される「くまもとおみやげ」づくりと県産品の認知度向上を目指しています。

■お問い合わせ先/くまもとブランド推進課 ☎096-333-2333



メンバー9人、パワー全開です!



## 熊本PRを加勢します!「かせしょう隊」

かせしょう隊 1班 班長 こだま やすのぶ 児玉 康宣さん(熊本市)

ねんりんピック2011(ふれ愛)熊本広報サポーター「かせしょう隊」は、来年10月開催のねんりんピックに向けて、地元熊本の皆さんにこの大会を知ってもらうため、地域のお祭りやイベントなどでPR活動を行っています。

全国から選手・役員など約1万人が参加するねんりんピックは、熊本をPRする大きなチャンスです。特に伝えたいのは、ガイドブックに載っていないような場所や地域の人の良さなどの隠れた魅力。「また熊本に来たい」と思ってもらえるようにがんばります。

### 「かせしょう隊」

「かせしょう隊」は、来年10月に開催される「ねんりんピック2011熊本」の楽しさを伝える9人の広報サポーター。平均年齢は約68歳。明るく元気に、かせしょうたい!

■お問い合わせ先/ねんりんピック推進室 ☎096-333-2011



## 変わる!熊本駅周辺

東口駅前広場は、このほど建築界のノーベル賞といわれる「プリツカー賞」を受賞した建築家の西沢立衛(りゅうえ)氏の設計によるものです。

「街の雰囲気を表現した」という白い雲の大屋根が象徴的で、新たな集いの広場を提供しています。

公園のように人々が集まり、訪れた人に「おもてなしの心」を感じてもらえる場所。そして熊本という「大きな広場」の入り口にあたる場所。九州新幹線全線開業をきっかけに熊本駅周辺は生まれ変わります。



テーマ「公園のような駅前広場」※新幹線開業時のデザイン

■お問い合わせ先/新幹線都市整備室 ☎096-333-2526

## 車窓からの風景で、来る人をもてなしたい

南豊崎地域資源保全隊 ふくしま しゅんいちろう 福島 俊一郎さん(宇城市)

地域の青壮年部や老人会と協力し、用水路の保守整備や花を植えるなどの景観整備を行っています。その一環で通学路や幼稚園の散歩道沿いにレンゲを植えていましたが、新幹線で熊本に来る人を楽しんでもらおうと、車窓から見える場所にもレンゲを植えるようになりました。

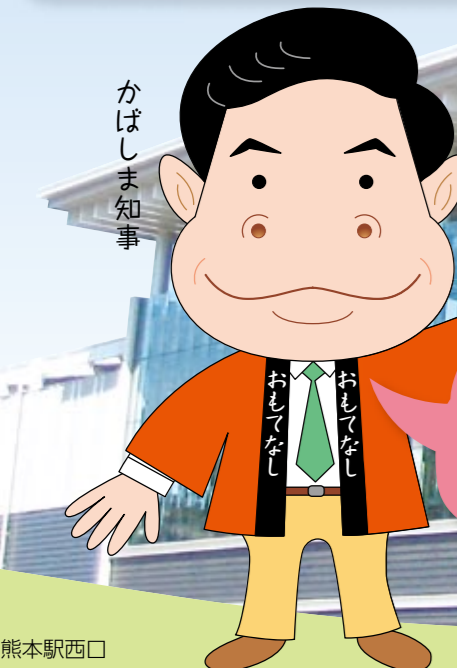


春にはきれいに咲いてね(かほ)。

来年の春には車窓一面に広がるレンゲ畑の「ピンクのじゅうたん」で熊本を訪れる皆さんをお迎えます。

“熊本に来てよかった”そして“次は南豊崎に行ってみよう”と思ってもらえるよう、みんなで盛り上がっています。

5月にはレンゲウォークを開催しています!



「何度も来たい熊本県」を目指しましょう!



# ようこそ!くまもとへ

ASO坊健太くん

くまモン

熊本駅西口

2010 くまもと カレンダー

## 主な県政の動きと出来事を紹介します

### 1月・2月・3月

- 医師確保や救急医療など、地域における医療課題の解決を図るため、「熊本県地域医療再生計画」を策定。
- 既存コンクリートダムでは全国初となる「荒瀬ダム」の撤去を表明。3月に藤本発電所の発電を停止。
- 九州新幹線全線開業に向け、スローガンを「くまもとサプライズ」、キャラクターを「くまモン」に決定。
- イメージキャラクター「ころも」の着任など、鞠智(きくち)城の国営公園化に向けた取り組みを進める。
- 安心して子どもを生育させることができる環境整備の具体的な取り組みを定めた「熊本県次世代育成支援行動計画(後期計画)」を策定。
- 熊本市と城南町、植木町が合併。熊本市の政令指定都市実現へ大きく前進。
- 認知症サポーター数が59,385人となり、県人口に占める割合日本一達成。

### 4月・5月・6月

- 「熊本県地球温暖化の防止に関する条例」の施行や、民間企業との連携協定締結など、低炭素社会の実現を目指した取り組みを進める。
- 私立高校生の夢の「発見・挑戦・実現」を応援する「熊本時習館構想」がスタート。
- 県立高校の再編・統合により阿蘇中央高校・上天草高校・矢部高校が開校。また、八代工業高校定時制総合学科を開校。
- 宮崎県で発生した口蹄疫への対応。県内への感染拡大を防ぐため、7月の対策本部解散まで、関係機関と連携した対策を実施。
- 「技術研究委員会」や「地域対策協議会」の設置、「国と県との検討会議」の開催など、荒瀬ダム撤去に向けた準備を進める。
- 「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」に基づく救済の申請受付開始。
- 「熊本県平成の名水百選」として50カ所の湧き水源などを選定し、認定証を交付。
- 八代海で発生した赤潮により、過去2番目の多大な漁業被害が発生。

### 7月・8月・9月

- 「五木村の今後の生活再建を協議する場」を開催。(以降随時開催)
- 熊本の子どもたちと母校(高校)などを応援する「ふるさと納税(寄附金)「夢教育応援分」」の募集開始。
- 九州新幹線(博多-新八代間)の試験走行が始まる。
- 平成23年末までのドクターヘリ導入や、防災消防ヘリとドクターヘリ連携による「熊本型ヘリ救急搬送体制」の構築を決定。
- 新しい時代のくまもと農業を担うトップリーダーを育てるため、「くまもと農業経営塾」を開講。
- 九州新幹線全線開業が平成23年3月12日に決定。10月には熊本駅や県庁にカウントダウンボードを設置。
- 公共関係産業廃棄物最終処分場について、極限まで安全性を追求し、「クローズド・無放流型」に変更。11月には知事自ら現地入りし住民に説明。
- 「2010世界大百済典」、10月の「第7回中国-アセアン博覧会」などで、東アジアとの経済・文化交流の拡大を図るため、知事のトップセールスを実施。
- ひとり親家庭等を総合的に支援する「熊本県ひとり親家庭等応援事業」がスタート。

### 10月・11月・12月

- 「くまもとサプライズ観光キャンペーン」や、「くまモン話題化計画」など、九州新幹線全線開業に向けた関西地域などへのPRを積極的に展開。
- 熊本市の政令市移行に伴う県から市への事務権限移譲に関する「県市基本協定書」を締結。
- 最速達の新幹線「みずほ」の運行が決定。新大阪-熊本間を2時間59分で結ぶ。
- 住宅用太陽光発電システム普及率(H21年度実績)が全国第2位に。
- 新規就農者数が22年ぶりに300人を超える。